

2015年9月11日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

### Shade3D 社に投資

#### 国産唯一の 3DCG ソフトウェア「Shade」開発会社の再生と成長を支援

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン2号投資事業有限責任組合（NH-2）は、4日、再生支援を目的に統合型 3DCG 作成用ソフトウェア「Shade」の開発、販売を手掛ける株式会社 Shade3D（本社 東京都台東区、代表取締役社長 笹渕正直、以下「shade3D 社」）に投資することについて Shade3D 社の株主等と合意しました。Shade3D 社の中期事業計画では2年後をメドに売上高を4億円、営業利益を1億円程度まで引き上げる計画です。

NHC は、①「Shade」が初版以来 30 年の歴史を持つ国産唯一の 3DCG ソフトウェアとして現在も広く利用されている、②多数の登録ユーザーが存在し、教育機関の IT 授業教材としても広く採用されており、Shade3D 社の破たんは既存ユーザーや教育現場に悪影響を与える恐れがある、③万全の開発体制が維持され、バージョンアップ、新製品の開発が可能である、④3D プリンターが本格的な普及期を迎え、3D プリンティング制御機能の強化により「Shade」の利用層拡大が見込める——などの理由から Shade3D 社への投資を決定致しました。

NHC は、Shade3D 社の親会社である株式会社 TIBANNE（破産手続中）及び関係会社である株式会社 MTGOX（破産手続中）の破産管財人との間で Shade3D 社の発行済株式の全部と債権の全額を譲り受けることで合意しました。また、別途増資を引き受け Shade3D 社の資金繰りと新規事業参入による成長を支援していく方針です。具体的には、Shade3D 社は「Shade 3D シリーズ」のバージョンアップや「Sunny3D」、「Shapeasy」など簡単な操作で 3DCG が作成できる新製品の発売など既存事業の収益拡大を積極的に図るとともに、事業会社向けの新しいサービス（B2B）の開発と事業化などのバリューアップ施策を強力に推し進めていく計画です。

以上

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から2006年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉、武田産業など、開示可能なエクイティー投資先だけで36社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC） 竹江、牧野

電話 03-5532-8921